

城陽市障がい者自立支援協議会

第16回 療育部会報告書

報告者 部会長 大蔵 寛子

標記について下記のとおり報告します。

日 時	平成27年 7月 16日 (木) 10:00～
場 所	福祉センター 3階研修室
出席者	城陽市福祉課 相談支援事業所(障害児(者)地域療育支援センターういる) サービス提供事業所 (あっぷ、きりん、城陽市社会福祉協議会訪問介護センター、指定居宅介護事業所チャレンジ、そらいろ、ひこうき雲、ものづくりスペースみんななかま)
検討課題	… 1. 福祉と教育の連携について(発達部会からの報告) 2. 今年度実施取り組みについての提案(事例検討、地域資源マップ)

【議事録】

- 福祉と教育の連携について(発達部会からの報告)
 - 平成27年度版 山城北圏域における「教育・福祉・行政の連携ルール」に基づき説明、福祉事業所が学校(支援校除く)との連携手順について確認する。
- 今年度の取り組みについて
 - 事例検討にむけての提案
 - 各事業所で対応に困っているケース、もしくは普通学校や支援学校と連携し支援が上手くいっているケース等、不登校ケース等、どういった事例を検討したいのか意見収集。
⇒不登校になりつつあり、家庭支援と学校との連携が必要なケース(ういる相談支援、そらいろお出かけ支援)について事例検討をすることに決定。
 - 地域資源マップ作製に向けての提案
 - 城陽市地域包括支援センターが配布している「高齢者・障がい車にやさしいお店、サービス」のようなものをベースに、事業所を利用している保護者からの要望の高い、障がいがあっても通いやすい医療機関、人の少ない遊び場等、各事業所がもっているインフォーマルな情報資源をあつめ、冊子にして配布する。第4回療育部会での完成を目指す。
- その他
 - 次回開催 9月17日(木) 10:00～
 - 内 容 事例検討会

